

第51回 社会を明るくする運動松前町大会

開会式では、大会長の白石町長が、「犯罪や非行を防止し、罪を犯した人や非行をした少年の更生を支援、いきいきとした明るい地域づくりに参画する。」と重点目標を掲げるとともに、「家庭、学校、職場及び地域社会が一体となってよい環境づくりに努める必要があります。」との力強い挨拶がありました。

7月18日(水)、松前総合文化センターで、松前町実業委員会主催による「第51回社会を明るくする運動松前町大会」が、町内中学生並びに28団体など町民約500人が参加し、盛大に開催されました。



▲白石大会長によるあいさつ



「友達がいれば」
松前中学校豊田彩加さん



「大切なもの」
北伊予中学校高市秀美さん



「二倍、三倍の努力」
岡田中学校大政友里絵さん

▼作文発表や記念講演を熱心に聴く皆さん



大会を飾る記念講演は、小松町在住で「のらねこ学館」館長塩見志満子先生が「共に生きる」と題して、お互いの立場を尊重しながら生きていくことの大切さを、ユーモアを交えて話されました。

▼塩見志満子先生による記念講演



たばこ小売店組合の皆さんが清掃活動 Smokin' Clean!

6月13日(水)、たばこ小売店組合の皆さん20名が、役場前の県道を中心に清掃活動を行いました。蒸し暑い中、「Smokin' Clean」と書かれた緑のエプロンと帽子を身につけ、空き缶やたばこの吸殻などたくさんのごみを熱心に収集されていました。

今回で第5回となるこの活動は、環境の美化や喫煙マナーの向上を訴えることを目的にはじめられました。

一人ひとりがごみの始末に責任を持ち、みんなで美しい松前町をつくっていきましょう。